

「南部小富士」とも 称される名久井岳

国道4号から平野越しに望む名久井岳は、町を見守るかのように裾野を広げ、雄大にそびえています。複数の小山が集まった起伏山地で、標高615メートル。端正な姿から「南部小富士」と称され、古くから人々の信仰を集めてきた霊峰でもあります。

自然と触れ合い、心と体の健康づくりの場としても、名久井岳に愛着を持つ人は多くいます。一年を通して県内外から多くの登山者が訪れるのは、名久井岳が比較的登りやすい山であるだけでなく、四季を通して人々を引きつける魅力があるからなのでしょう。名久井岳登山会（久保久夫会長）では、約40年前から毎月1回の早朝登山を欠かさず続けています。山頂までは東側の法光寺から約1時間、五

シビックプライド

『花は山、人は里』を訪ねて

①

名川地区／果樹のまちを 不動のものに



果樹園から名久井岳を望む



名川南小学校の名久井岳全校登山



法光寺の千本松（県天然記念物）



法光寺三重の塔「承陽塔」

合目駐車場から約30分で登ることができます。山頂からは、360度の眺望。町を貫く馬淵川と周辺の田園風景、階上岳、久慈平岳、八戸市街と太平洋、八甲田連峰、遠くは岩手山まで見渡すことができます。

糠部三十三観音 第十九番札所の法光寺

信仰の山・名久井岳の東麓にある法光寺は、鎌倉時代に開かれたとされる名刹です。寛保3年（1743）に天聖寺（八戸市）の則譽守西上人が定めた糠部三十三観音巡礼の十九番札所でもあり、千手観音が祀られています。参道沿いには、約500メートルにわたって見事なアカマツ並木が続きます。延宝4年（1676）に、修行の一環で12代住職が小僧たちと般若心経を唱えながら苗木472本を

植えたとの記録があり、以前から植えられていた松と合わせると千本近くになることから「千本松」と呼ばれるようになったといわれています。

昭和33年（1958）には、樹齢300年、樹高約20メートルのアカマツ23本が県の天然記念物に指定されました（現存は14本）。令和2年（2020）には、松並木の歴史的背景と、地域住民からの高い関心が評価されて23本が追加指定。合計37本が指定されています。歴代住職が思いを受け継ぎ、地元有志の保護団体「法光寺千松会」が手入れをしてきた法光寺参道松並木は、長い年月をかけて守られ、地域の宝ともいえる景観を創り出しています。月見橋を渡り、石段の先にある山門をくぐると、本堂が姿を現します。本堂の裏手には、高さ33メートル、縦横8メートルの承陽塔。曹洞宗開祖である道元禅師の遺骨を安置するために建立され、昭和24年（1949）に竣工し



名川チェリリン村のオートキャンプ場で開催された「CHERIRIN CAMP 2020」でのテントの設営講座

ました。戦後に建てられた木造の三重塔の中では国内最大級の規模で、平成29年（2017）に国の有形文化財に登録されました。

チェリリン村とフルーツ街道

名久井岳の麓にある「名川チェリリン村」は、キャンプ場やスポーツ施設などが整備されたレジャースポットです。令和2年（2020）9月に南部町初のキャンプイベント「CHERIRIN CAMP 2020」が開催され、テントの設営講座や木工体験、キッチンカーのイベントなどで賑わいました。10月には屋外映画イベント「ナイトシアター」が初めて開催され、町の新たな文化の発信地になっています。

名川チェリリン村から坂を下っていくと、沿道に果樹畑や観光農園、果樹直売所が点在し、



名川チェリーセンター

果樹栽培が盛んな名川地区らしい景観を見ることが出来ます。毎年5月には、色とりどりの果樹の花を楽しみながらウォーキングする「果樹の花見散策ウォーク」も開催しています。

このフルーツ街道を抜けた先にあるのが、「名川チェリーセンター」です。四季折々の果物や新鮮な野菜、お菓子やジャムなどの加工品などを取り揃え、多くの買物客が訪れる産地直売所ですが、6月末から7月中旬のサクランボ収穫期は特に混み合います。南部町のサクランボ生産量は、青森県内一。令和2年（2020）には青森県オリジナル品種の「ジュノハート」が、研究・開発から20年余りを費やし、ついに全国デビューしました。大玉で、甘く、愛らしいハート



学校給食でジュノハートを手にする名久井小学校児童